

第1回 精神保健福祉士の養成の在り方等に関する検討会

平成19年12月19日

参考資料2

# 精神保健福祉士国家試験 出題基準・合格基準

# 精神保健福祉士国家試験出題基準

## 1 出題基準の基本的性格

出題基準は、試験委員が試験問題を作成するために用いる基準であることから、次のような基本的性格を有する。

(1) 出題基準は、あくまでも標準的な出題範囲の例示であって、出題範囲を厳密に限定するものではなく、また、作問方法や表現等を拘束するものではない。

(2) 出題基準公表後の法改正による制度の重大な変更等、出題基準にない事項であっても、精神保健福祉士として習得すべき事項については、出題することができる。

(3) 関係学会等で学説として定まっていなかったり、論議が分かれているものについては、その旨を配慮した出題を行う。

## 2 大・中・小項目の位置付けと関係

(1) 大項目は、中項目を束ねる見出しであり、科目全体の範囲を示すとともに、出題の理念を示すものである。

(2) 中項目は、試験の出題内容となる事項であり、試験問題はこの範囲から出題されることとなる。なお、中項目は、出題基準として、試験問題の出題範囲という観点から配列されているため、学問的な分類体系とは必ずしも一致しない。

(3) 小項目は、中項目に関する事項をわかり易くするために例示した事項である。

(4) 出題は、この出題基準に盛り込まれた事項に限定されるものではなく、法律、政省令等に規定されている事項、厚生労働白書などの広報を目的とした公刊物に記載されている事項などからも出題される。

## 3 試験科目別出題基準

試験科目別出題基準は、「別添」のとおりである。

# 試験科目別出題基準

## 精神医学

大項目	中項目	小項目
1 精神医学、精神医療の歴史と現状	1) 精神医学、精神医療の歴史と現状	①我が国及び国際的な動向
2 脳及び神経の生理・解剖	1) 脳及び神経の生理・解剖	
3 精神医学の概念	1) 精神医学の概念	
	2) 精神障害の成因と分類	
4 診断法	1) 診断の手順と方法	
	2) 精神症状と状態像	
	3) 心理検査と身体的検査	
5 代表的な精神障害	1) 症状性を含む器質性精神障害	①アルツハイマー型認知症 ②ピック病 ③脳血管性認知症
	2) 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	①アルコール依存症 ②覚醒剤依存症 ③大麻依存症 ④コカイン依存症
	3) 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	①統合失調症 ②パラノイア
	4) 気分(感情)障害(躁うつ病)	①うつ病性障害 ②躁病性障害
	5) 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	①不安障害 ②強迫性障害 ③解離性(転換性)障害 ④外傷後ストレス障害 ⑤適応障害
	6) 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	①摂食障害 ②睡眠障害 ③心身症
	7) 成人の人格及び行動の障害	①人格障害
	8) 知的障害	
	9) 心理的発達の障害	①特異的発達障害 ②広汎性発達障害
	10) 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	①多動性障害 ②行為障害 ③チック障害
	11) 神経疾患	①てんかん ②ハンチントン舞踏病 ③プリオン病
6 治療法	1) 身体的療法	①インフォームドコンセント ②薬物療法 ③雷気けいれん療法
	2) 精神療法	
	3) 環境・社会療法	
	4) 精神科リハビリテーション	

7 病院精神医療及び地域精神医療	1) 病院精神医療	①精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法) ②入院患者の人権
	2) 精神科救急医療	①救急システム ②移送システム
	3) 地域精神医療	

## 精神保健学

大項目	中項目	小項目
1 精神保健についての基本知識	1) 精神保健の概要	①精神保健に関する基本的概念 ②精神保健に関する予防の概念
	2) 精神保健の意義と課題	①アメリカにおける精神保健 ②我が国における精神保健
2 ライフサイクルにおける精神保健	1) 胎児期及び乳幼児期における精神保健	①胎児期、乳幼児期の精神発達の特徴 ②育児困難と精神保健上の問題
	2) 学童期における精神保健	①学童期の精神発達の特徴 ②学校不適応、いじめと精神保健上の問題
	3) 思春期における精神保健	①思春期の精神発達の特徴 ②思春期問題行動と精神保健上の問題
	4) 青年期における精神保健	①青年期の精神発達の特徴 ②アイデンティティの危機と精神保健上の問題
	5) 成人期における精神保健	①成人期の一般的精神状態の特徴 ②中年危機と精神保健上の問題
	6) 老年期における精神保健	①脳の老化と精神の老化の特徴 ②老年精神障害、自殺予防と精神保健上の問題
3 精神保健における個別課題への取り組み	1) 精神障害者対策	①精神医療対策の変遷 ②社会復帰対策、福祉対策の展開
	2) 老人性認知症疾患対策	①知識の普及、相談活動及び早期発見、早期対応と予防 ②介護及び在宅ケアシステムと権利擁護システム
	3) アルコール関連問題対策	①アルコール関連身体症状及び精神症状の理解とアルコール依存症の理解 ②アルコール症の治療とアルコール依存症の地域ケア
	4) 薬物乱用防止対策	①薬物乱用の現状と依存性薬物の特性の理解 ②薬物乱用の治療と自助グループ育成及び地域ケアの重要性
	5) 思春期精神保健対策	①不登校、いじめ、性非行等の個別的な現状と背景 ②思春期問題に対応するためのシステムづくり

	6) 地域精神保健対策	①精神障害に関する正しい理解 ②地域ケアシステムの構築 ③地域住民の精神的健康を高めるための方法論とその活動
	7) ターミナルケアと精神保健	①QOL(生活の質) ②末期患者の症状 ③自己決定権に関する認識と病名告知 ④チーム医療の重要性
4 精神保健活動の実際	1) 家族における精神保健	①少子高齢社会 ②育児支援の充実 ③学校精神保健との連携 ④職場の精神保健との連携
	2) 学校における精神保健	①学校精神保健における課題 ②学校保健と子育てに関連する地域保健との連携
	3) 職場における精神保健	①労働安全衛生法 ②ストレス対策の充実 ③地域精神保健との連携
	4) 地域における精神保健	①地域保健活動の一環としての地域精神保健活動 ②精神障害者の地域ケアの推進と地域住民の精神的健康の増進
5 地域精神保健と地域保健	1) 地域精神保健施策の概要	①地域保健における目標、目的、方法の変遷 ②総合的な地域保健計画の充実と地域精神保健活動の関係
	2) 地域保健施策の概要	①母子保健法、地域保健法、精神保健福祉法の相互関連 ②精神保健福祉施策
	3) 関連法規	①障害者基本法、障害者自立支援法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、障害者雇用促進法、児童福祉法 ②教育基本法、学校教育法、学校保健法、労働基準法、労働安全衛生法
	4) 関連施策	
6 諸外国における精神保健	1) 世界的に見た精神障害と精神医療サービスの現状	
	2) 精神保健の世界的な流れ	

## 精神科リハビリテーション学

大項目	中項目	小項目
1 精神科リハビリテーションの概念	1)リハビリテーションの概念と歴史	①リハビリテーションの歴史 ②障害の種類と国際分類
	2)リハビリテーションの理念、意義と基本原則	①リハビリテーションの理念と意義 ②リハビリテーションの基本原則
	3)精神科リハビリテーションの概念	①精神障害の現れ方とリハビリテーションのあり方 ②精神科リハビリテーションの構成
	4)精神科リハビリテーションの理念と意義	①精神科リハビリテーションと人権
	5)精神科リハビリテーションの基本原則と技法	①当事者参加と主体性の回復及び個別性の重視 ②生活環境への適応重視と再発防止の視点
	6)我が国及び諸外国の精神科リハビリテーションの現状	①我が国の精神科リハビリテーションの現状 ②諸外国における精神科リハビリテーションの現状
2 精神科リハビリテーションの構成	1)精神科リハビリテーションの対象	①障害と障害者の定義及び国際障害分類の変遷 ②我が国の精神障害の定義と障害に関する基本的アプローチ
	2)精神科リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割	①精神保健福祉士の業務内容 ②精神保健福祉士の専門性と役割
	3)精神科リハビリテーションに関わる専門職との連携	①精神保健福祉関連の専門職(職名、養成課程、業務範囲) ②専門職間の連携(連携のあり方、連携の方法、チーム構成)
	4)精神科リハビリテーションの施設	①病院、リハビリテーション施設 ②社会復帰施設及びその他の社会資源(グループホーム、小規模作業所) ③精神保健福祉センター、保健所 ④その他の協力機関、支援団体
	5)精神科リハビリテーションの関連領域	①知的障害者及び高齢者の入所、通所施設 ②ハローワーク及び職親

3 精神科リハビリテーションのプロセス	1)リハビリテーション計画	①リハビリテーション計画とアセスメント ②リハビリテーション計画における留意点
	2)アプローチの方法	①病院におけるリハビリテーション ②社会復帰施設及びその他の社会資源におけるリハビリテーション
	3)疾患の経過、ライフサイクルと精神科リハビリテーション	①疾病の側面及び生活の側面 ②年代ごとの生活課題とリハビリテーション
4 医療機関におけるリハビリテーション	1)作業療法及びレクリエーション療法	
	2)集団精神療法	
	3)行動療法	
	4)認知行動療法	①SST(生活技能訓練)
	5)家族教育プログラム	①心理教育
	6)デイケア及びナイトケア	
	7)精神科退院時指導、退院前訪問、訪問看護・指導	
5 精神保健福祉士が行うリハビリテーション	1)精神保健福祉士が関わる医学的リハビリテーション	①集団精神療法における精神保健福祉士 ②SST(生活技能訓練)における精神保健福祉士 ③デイケア及びナイトケアにおける精神保健福祉士 ④訪問看護・指導における精神保健福祉士
	2)社会的リハビリテーション	①日常生活への適応のための訓練 ②社会復帰のための相談・助言・指導
6 精神科リハビリテーションの総合化	1)地域リハビリテーション	①地域ネットワーク ②ケアマネジメント ③地域生活支援センターと訪問援助 ④家族会、セルフヘルプグループ ⑤ボランティアの育成と活用
	2)職業リハビリテーション	①就労援助活動の進め方 ②職業リハビリテーションサービス
	3)精神保健福祉施策と精神科リハビリテーション	①精神保健福祉法と精神科リハビリテーション施策の推進 ②障害者基本法、障害者プラン、障害者自立支援法と精神科リハビリテーション



## 精神保健福祉論

大項目	中項目	小項目
1 障害者福祉の理念と意義	1) 障害者福祉の理念	①障害者福祉の発達 ②ノーマライゼーション ③リハビリテーション ④QOL(生活の質) ⑤生活支援 ⑥自立と社会参加
	2) 障害及び障害者	①障害の概念 ②障害分類 ③精神障害の特性
	3) 障害者福祉の基本施策	①障害者基本法 ②障害者プラン
	4) 現代社会と精神障害者	①精神障害者の概念 ②精神障害者と家族 ③精神障害者と地域社会 ④精神障害者のノーマライゼーション
2 精神障害者の人権	1) 精神障害者の権利擁護	
	2) 精神医療における権利擁護	①精神医療審査会
	3) インフォームドコンセント	
	4) 地域社会における精神障害者の人権	
3 精神保健福祉士の理念と意義	1) 精神保健福祉の歴史と理念	
	2) 精神保健福祉士の意義	
	3) 精神保健福祉士の対象	
	4) 精神保健福祉士の専門性と倫理	
4 精神障害者に対する相談援助活動	1) 精神障害者を取りまく社会的障壁	
	2) 精神障害者の主体性の尊重	
	3) 相談援助活動の方法	①医療施設における相談援助活動 ②社会復帰施設等における相談援助活動 ③地域社会における相談援助活動
	4) 相談援助活動の事例	
5 精神保健福祉法、精神保健福祉士法等精神障害者に関する法律	1) 精神保健福祉法の意義と内容	
	2) 精神保健福祉士法の意義と内容	
	3) 関連法	①障害者自立支援法、医療観察法
6 精神保健福祉施策の概要	1) 精神保健福祉に関する行政組織	

	2) 精神保健福祉に係る公費負担制度	①公費負担医療
	3) 精神保健福祉施策の課題	①精神障害者保健福祉対策 ②社会復帰対策
	4) 精神保健福祉における社会資源	①精神障害者保健福祉に関わる専門職との連携 ②社会資源
7 精神保健福祉の関連施策	1) 雇用・就労	①障害者雇用促進法 ②ジョブガイダンス
	2) 所得保障	
	3) 経済負担の軽減	
	4) 生活環境の改善	

## 精神保健福祉援助技術

大項目	中項目	小項目
1 精神障害者を中心とした社会福祉サービスと援助活動	1) 援助の適用と対象	①精神保健福祉法の理解と運用
	2) 社会福祉サービスと援助活動	社会資源活用の援助活動
2 精神障害者を中心とした社会福祉援助活動の目的・価値・原則及び方法等に関する共通課題	1) 社会福祉援助活動の目的と価値及び倫理	①権利擁護 ②職業倫理
	2) 社会福祉援助活動の原則	①自己決定 ②秘密保持
	3) 社会福祉援助活動の方法と過程	①医学モデルと生活モデル ②エンパワメント
	4) 社会福祉援助活動の共通課題	①契約・介入の意義と方法 ②面接の意義と方法 ③記録の意義と方法 ④評価の意義と方法 ⑤スーパービジョンの意義と方法 ⑥セルフヘルプグループ及びボランティア活動の意義と支援方法 ⑦ケアマネジメントの意義と方法 ⑧ネットワークの意義と方法 ⑨就労支援の意義と方法
3 専門的援助技術の体系	1) 直接援助技術の内容と機能	①個別援助技術 ②集団援助技術
	2) 間接援助技術の内容と機能	①地域援助技術 ②社会福祉調査法 ③社会福祉運営管理 ④社会福祉計画 ⑤その他(ソーシャル・アクション、ネットワーク)
4 精神保健福祉士と専門的援助技術	1) チームアプローチと専門的援助技術	①精神保健福祉士の役割と機能
	2) 社会資源活用の専門的援助技術	
	3) ライフサイクルに伴う精神保健福祉問題への専門的援助技術	
	4) 生活支援と専門的援助技術	
	5) 就労支援の専門的援助技術	
5 精神障害者を対象とした個別援助技術(ケースワーク)	1) 疾病及び障害に配慮した個別援助技術	①危機介入の援助技術 ②生活支援の援助技術
	2) 個別援助技術の実際と適用分野	
	3) 個別援助技術におけるスーパービジョン	
	4) 具体的事例検討	

6 精神障害者を対象とした集団援助技術(グループワーク)	1) 疾病及び障害に配慮した集団援助技術	
	2) 集団援助技術の実際と適用分野	①デイケアとグループワーク ②SST(生活技能訓練)
	3) 集団援助技術におけるスーパービジョン	
	4) 具体的事例検討	
7 精神障害者を対象とした地域援助技術(コミュニティワーク)	1) 地域援助技術の概念と基本的性格	
	2) 地域援助技術の具体的展開	①ノーマライゼーションの推進と住民参加 ②社会資源の活用と開発 ③地域社会における連携と調整機能 ④家族会、自助グループの支援 ⑤ボランティア等地域マンパワーの育成と活用 ⑥地域生活支援活動 ⑦雇用・就労支援活動
	3) 具体的事例検討	
8 精神障害者のケアマネジメント	1) ケアマネジメントの原則	①適用と対象 ②人権への配慮
	2) ケアマネジメントの意義と方法	①ケアマネジメントの意義と方法 ②関係機関との連携
	3) ケアマネジメントのプロセス	①インテーク ②ニーズの把握とその評価 ③目標設定と計画的実施 ④包括的サービスの実現 ⑤評価
	4) チームケアとチームワーク	
	5) 具体的事例検討	
9 精神障害者援助と関連専門職との連携	1) チーム医療における精神保健福祉士の役割と機能	
	2) 専門職等の役割と機能	
	3) チームアプローチ及び生活支援の理念と精神保健福祉士の役割と機能	
	4) 協力・連携による包括的保健・医療・福祉サービスの活用	
	5) 具体的事例検討	

## 社会福祉原論

大項目	中項目	小項目
1 現代社会と社会福祉	1) 社会福祉の理念	①人権尊重 ②権利擁護 ③自立支援
	2) 社会福祉の発達	①日本の社会福祉発達史 ②諸外国の社会福祉発達史
	3) 概念と範囲	①日本国憲法 ②社会福祉法 ③社会保障制度審議会
	4) 役割と意義	①保護・救済 ②援助・支援 ③自助・互助・公助
2 社会福祉の対象の把握方法	1) 対象	①政策 ②制度
	2) 視点	
	3) 方法	①実践 ②制度
3 社会福祉援助の具体的な形態と方法	1) 社会福祉援助の活動領域	
	2) 社会福祉援助の方法	①現金給付 ②現物給付 ③対人サービス
4 社会福祉援助活動における専門性と倫理	1) 専門性	①知識基盤 ②価値基盤 ③技能基盤
	2) 専門職	
	3) 専門資格	
	4) 他の関連専門職との連携のあり方	
	5) 社会福祉援助活動と倫理	①倫理要領
5 社会福祉専門職と資格制度	1) ソーシャルワーカー	
	2) 社会福祉士	①国家資格 ②業務独占と名称独占 ③各法の内容 ④業務と義務
	3) 精神保健福祉士	①国家資格 ②業務独占と名称独占 ③各法の内容 ④業務と義務
	4) 介護福祉士	①国家資格 ②業務独占と名称独占 ③各法の内容 ④業務と義務
	5) その他の福祉専門職	
6 社会福祉関係法制と実施体制及び財政の概要	1) 社会福祉法	
	2) 福祉六法及び関連法規の内容及び相互関係	①法律の性格と法制の体系 ②各法の内容と関係

	3) 社会福祉の実施体制	①福祉事務所 ②各種相談所 ③民生委員
	4) 社会福祉の財政と費用負担	①受益者負担 ②応益負担・応能負担
7 社会福祉をめぐる我が国及び諸外国の動向	1) 我が国の動向	①社会福祉基礎構造改革 ②措置と契約 ③女性福祉(婦人保護事業、DV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律)) ④福祉文化
	2) 海外の動向	①グローバル化 ②国際福祉

## 社会保障論

大項目	中項目	小項目
1 現代社会と社会保障	1) 社会保障理念の発達	①福祉国家 ②ベヴァリッジ報告
	2) 社会保障の歴史	①日本の社会保障史 ②諸外国の社会保障史
	3) 社会保障の国際動向	
	4) 概念と範囲	①社会保障制度審議会答申
	5) 役割と意義	
2 社会保障制度の体系	1) 社会保障制度の機能と体系	①社会保障の機能と構造 ②社会保障制度の体系
3 社会保障を構成する各制度の目的、対象、給付内容及び財源の概要	1) 年金	①老齢年金、障害年金、遺族年金
	2) 医療保障	①現物給付と現金給付
	3) 介護保険	
	4) 労働者災害補償制度	
	5) 雇用保険	
	6) 社会(家族)手当	①児童手当
	7) 公的扶助(生活保護)	
	8) 社会福祉	
	9) その他関連制度	
4 我が国の年金制度とその具体的内容	1) 国民年金	①基礎年金
	2) 厚生年金保険	
	3) 各種共済組合の年金	
	4) その他の年金制度	①確定拠出年金 ②年金基金 ③船員保険
5 我が国の医療保障制度とその内容	1) 国民健康保険	
	2) 健康保険	
	3) 各種共済組合の医療保険	
	4) 老人保健	
	5) その他の医療保障制度	①船員保険 ②公費負担医療
6 我が国の介護保障制度とその具体的内容	1) 介護保険	
7 我が国の労働保険制度とその具体的内容	1) 労災保険	
	2) 雇用保険	
8 公的施策と民間保険	1) 公的施策と民間保険との関係	
	2) 民間保険の現状	
9 社会保障の実施体制及び専門職	1) 社会保障の実施体制	①社会保険事務所 ②公共職業安定所 ③労働基準監督署
	2) 権利救済制度	
	3) 専門職	①社会保険労務士
10 我が国の社会保障の課題と動向	1) 社会保障の課題	
	2) 政策動向	

## 公的扶助論

大項目	中項目	小項目
1 現代社会と公的扶助	1) 公的扶助理念の発達	①ナショナルミニマム ②生存権
	2) 公的扶助制度の沿革	①日本における公的扶助の沿革 ②諸外国における公的扶助の沿革
	3) 概念と範囲	
	4) 役割と意義	
2 低所得対策の概要	1) 生活福祉資金	
	2) 社会手当制度	①児童手当 ②児童扶養手当 ③特別障害者手当
3 生活保護制度のしくみ	1) 目的	
	2) 基本原理	
	3) 保護の原則	
	4) 保護の種類と内容	
	5) 生活保護基準	
	6) 保護施設の種類	
	7) 生活保護の決定・実施	①資産、所得 ②扶養 ③最低生活費
	8) 保護の実施機関と実施体制及び財源	①実施責任
	9) 被保護者の権利及び義務	①被保護者の権利・義務 ②不服申立制度
	10) 要保護者の相談	
4 生活保護の最近の動向	1) 生活保護統計と財政	
	2) 生活保護の政策動向	
5 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方	1) 組織・専門職	①社会福祉主事 ②補助機関、協力機関 ③民生委員
	2) 連携のあり方	
6 公的扶助における相談援助活動	1) 事例検討	



## 地域福祉論

大項目	中項目	小項目
1 現代社会におけるコミュニティと地域社会	1) 日本の地域社会	
	2) コミュニティの概念	①ゲゼルシャフト ②ゲマインシャフト ③共同体
2 現代社会と地域福祉	1) 地域福祉理念の発達	①相互扶助 ②コミュニティケア ③福祉のまちづくり ④ノーマライゼーション
	2) 地域福祉の国際動向	①シーボーム報告 ②グリフィス報告
	3) 概念と範囲	
	4) 役割と意義	
3 地域福祉の構成	1) 地域集団	
	2) 当事者集団	
	3) 地域福祉に関する法と制度	①社会福祉法
4 地域福祉の推進方法	1) 推進の基本的考え方	①住民参加 ②住民主体 ③住民自治 ④福祉教育
	2) 地域福祉計画の意義と内容	①地域アセスメント ②計画の内容と策定方法 ③地域福祉活動計画 ④住民(市民)運動 ⑤地域組織化 ⑥福祉組織化
	3) 市町村と社会福祉協議会の役割と住民参加の意義	①社会福祉協議会 ②社会福祉を目的とする事業 ③地域福祉に関する活動
	4) サービス提供組織とその運営方法	①第三セクター ②福祉の多元化
	5) 人材の構成及びその動員方法	①コミュニティワーク ②コミュニティオーガニゼーション ③ネットワーキング
	6) 財源の構成とその調達の方法	①共同募金 ②地域福祉基金
	7) 地域福祉推進の具体的な組織、団体、専門職及びその連携のあり方	①企画指導員 ②福祉活動指導員 ③福祉活動専門員
5 地域福祉の課題と動向	1) 現状と課題	
	2) 政策動向	
6 地域福祉における相談援助活動	1) 事例検討	

# 心理学

大項目	中項目	小項目
1 人間の心理学的理解	1) 学習・記憶	①学習理論 ②記憶モデル
	2) 感覚・知覚・認知	①認知理論
	3) 感情・情動	①情緒・情動 ②気分 ③情操
	4) 欲求・動機付けと行動	①外発的動機付けと内発的動機付け
	5) 適応・不適応	①適応機制
	6) 知能・創造性	①IQ(知能指数) ②結晶性能力・流動性能力
	7) 性格・人格	①パーソナリティ理論
	8) 個人と集団	①集団力学 ②リーダーシップ理論
2 人間の成長・発達と心理援助	1) 発達のとらえ方と発達理論	①生涯発達の視点と発達理論
	2) 発達段階と発達課題	①アタッチメント ②遊びと発達 ③アイデンティティの形成と再構築
	3) 障害の受容	①障害の受容過程
	4) 障害児者への発達支援・心理援助	①生活障害の理解 ②障害者の心理と支援
	5) 高齢者への発達支援・心理援助	①生活障害の理解 ②高齢者の心理と支援
3 生活の場と心理援助	1) 生活の場・生活環境に対する理解	
	2) 生活の場における人間関係	
	3) 生活の場におけるストレスと行動	①ストレスとストレッサー ②ストレスマネジメント
	4) 必要な心理援助の内容	
4 ソーシャルワーカーと心理学	1) ソーシャルワーカーの業務に活かす心理学	
	2) 専門職への理解と連携	
	3) 家族支援の視点と方法	
	4) ソーシャルワーカーの行う心理援助	①カウンセリング ②ピア・カウンセリング ③SST(生活技能訓練)
5 心理検査の考え方と方法	1) 心理検査の考え方	
	2) 心理検査の内容	①人格検査 ②発達検査 ③知能検査 ④適性検査 ⑤その他の検査
6 心理療法の考え方と方法	1) 代表的な心理療法理論	①精神分析
	2) 個別心理療法と集団心理療法	①来談者中心療法 ②家族療法

3)さまざまな心理療法	①ブリーフ・サイコ・セラピー ②動作療法 ③心理劇 ④エンカウンター・グループ ⑤遊戯療法 ⑥行動療法
4)福祉現場におけるセラピューティック・アクティビティ	①音楽療法 ②動物・園芸療法

## 社会学

大項目	中項目	小項目
1 社会変動と社会意識・生活の変化	1) 社会変動の諸概念の理解	①ゲゼルシャフト ②ゲマインシャフト ③コミュニティ ④アソシエーション ⑤グローバリゼーション ⑥エスニシティ ⑦近代化・産業化 ⑧情報化
	2) 社会意識	①社会的性格 ②大衆社会論 ③権威主義的パーソナリティ
	3) 生活の変化	①人口問題 ②生活構造 ③QOL (生活の質) ④ライフコース ⑤ライフサイクル ⑥生活時間 ⑦ジェンダー ⑧ボランティアリズム
2 現代社会と科学技術	1) 科学技術の展開と社会変動	①現代社会と環境問題(公害、南北問題、エコロジー、持続可能な社会、環境コスト、環境リスク) ②現代社会と情報(脱工業化、第三の波、マスメディア、マスコミュニケーション、パーソナルコミュニケーション、メディアリテラシー)
3 現代社会の組織と専門職	1) 社会変動と社会移動	①社会階層(階級、地位、ホワイトカラー、水平移動、垂直移動、世代間移動、貧困、アンダークラス、SSM調査(社会階層と社会移動全国調査))
	2) 組織とネットワーク	①組織(官僚制、リーダーシップ、ホーソン調査、インフォーマル組織、NPO法人(特定非営利活動法人)) ②職業・労働・専門職集団(産業構造、職業分類、日本的経営、家事労働、女性労働、外国人労働者、準拠集団、倫理)
4 現代社会における家族	1) 家族の構造的特質	①家族の形態(家制度、定位家族、生殖家族、核家族、拡大家族、世帯、離婚、エンプティ・ネスト)

	2) 家族の機能的特質	①個人の社会化(手段的役割、表出的役割、アイデンティティ、社会化、一般化された他者、役割)
5 現代社会における地域社会	1) 社会変動としての都市化と地域社会	①都市化(シカゴ学派、アーバニズム、郊外化、インナーシティ、世界都市) ②過疎化(地域開発、全国総合開発計画) ③地域社会の社会集団・組織(町内会・自治会・ボランティア集団、ネットワーキング、コミュニティ)
6 現代社会における社会問題	1) 社会問題の認識	①社会問題の諸概念(規範、ラベリング、スティグマ、差別、エイジズム、マイノリティ・グループ、フェミニズム、エスノセントリズム、アファーマティブ・アクション) ②社会的逸脱現象 ③社会運動

# 法学

大項目	中項目	小項目
1 社会生活と法	1) 社会生活と法	
2 憲法	1) 基本原理	①憲法規範の特質(自然権、国家権力の制限、最高法規性) ②立憲主義(法の支配、法治国家、自由国家、社会国家、福祉国家) ③民主主義 ④国民主権
	2) 基本的人権	①人権の観念・基本原理(人権の固有性、人権の不可侵性、人権の普遍性、人間の尊厳の原理) ②自由権(精神的自由権、経済的自由権、人身の自由) ③幸福追求権(プライバシーの権利、自己決定権) ④法の下での平等 ⑤参政権 ⑥社会権(生存権) ⑦基本的人権の限界(公共の福祉、私人間効力) ⑧人身の自由(適正手続)
	3) 財政	①財政民主主義 ②租税法律主義 ③公金支出の禁止
	4) 地方自治	①地方公共団体の機関 ②条例(条例制定権)
3 民法	1) 総則	①成年後見(成年後見人、保佐人、補助人) ②法定代理人 ③未成年者 ④意思表示 ⑤無効・取消 ⑥公益法人 ⑦NPO法人(特定非営利活動法人) ⑧中間法人
	2) 物権	①物権変動の対抗要件

	3) 契約	①契約不履行・損害賠償 ②契約の解除 ③贈与 ④委任・準委任 ⑤請負 ⑥消費者契約法 ⑦割賦販売法 ⑧特定商取引に関する法律 ⑨訪問販売・特定継続的役務提供 ⑩クーリングオフ
	4) 事務管理	
	5) 不法行為	①不法行為の一般的要件 ②使用者責任 ③過失相殺 ④消滅時効
	6) 親族	①親族・血族・姻族 ②婚姻・離婚 ③嫡出子・非嫡出子・認知 ④養子・特別養子 ⑤親権 ⑥後見・保佐・補助 ⑦扶養
	7) 相続	①相続人 ②法定相続 ③遺産分割 ④遺言 ⑤遺留分
4 行政法	1) 行政行為及び行政手続	①行政行為(行政行為の概念・意義、行政行為の効力、行政行為の取消・撤回) ②行政手続(処分、申請、不利益処分、行政指導、届出、審査基準・標準処理期間、処分基準、聴聞・弁明の機会の付与)
	2) 行政不服審査	①不服申立て(審査請求、再審査請求、異議申立て、審査請求期間・再審査請求期間、異議申立て期間、処分庁・上級行政庁・審査庁、裁決の効力)
	3) 行政訴訟	①抗告訴訟(取消訴訟、原告適格、被告適格、出訴期間、執行停止、裁量処分、取消判決の効力、無効等確認の訴え、不作為の違法確認の訴え) ②当事者訴訟
	4) 国家賠償	①公務員 ②公権力の行使 ③公の営造物 ④賠償責任者

5) 情報公開	①行政機関 ②行政文書 ③行政文書の開示 ④不開示情報 ⑤部分開示 ⑥開示請求 ⑦開示決定 ⑧情報公開審査会
6) 地方行政組織	①自治事務 ②法定受託事務 ③執行機関



## 医学一般

大項目	中項目	小項目
1 人体の構造・機能	1) 人体全体の構造と機能	①人体部位名称(頭部、頸部、胸部、背部、腹部、四肢、体幹、脊柱、血管)
	2) 各器官と機能	①器官系列別に見た構造と機能(循環器系、呼吸器系)
	3) 成長と老化	①身体・精神の成長、成熟、老化
2 一般臨床医学の概要	1) 現代医学までの流れと発展	①現代医学とは(医療の対象の変化、遺伝子治療、再生の医学) ②診断技術と治療技術の発展 ③診療科の設置・標榜科
	2) 医療の現状	①医療の理念 ②救急救命医療 ③QOL(生活の質)の維持 ④終末(期)医療 ⑤リハビリテーション医療 ⑥EBM(根拠に基づく医療)
	3) 医療の仕組み	①2次・3次医療圏 ②かかりつけ医 ③地域医療
	4) 医の倫理	①インフォームドコンセント ②情報開示 ③医療事故
3 リハビリテーション医療の概要	1) リハビリテーション医療の流れ	①リハビリテーションの理念と医療技術の発展 ②包括的(総合的)リハビリテーション ③他分野との連携
	2) リハビリテーション医療の対象	①障害の評価と診断 ②治療計画 ③リハビリテーションの実施 ④リハビリテーション関連職種との連携 ⑤二次的障害の予防 ⑥急性期リハビリテーション ⑦回復期リハビリテーション ⑧維持期リハビリテーション ⑨地域リハビリテーション
4 現代社会と疾病	1) 先天性疾患	①先天性疾患とその原因
	2) 生活習慣病	①生活習慣病の意味と種類
	3) がん	
	4) 高齢者と疾患	①老化現象 ②高齢者の疾患の特徴 ③罹患しやすい疾患(脳血管障害、老人性認知症、パーキンソン病、白内障、難聴、骨粗鬆症、嚥下障害)

	5) 感染症	①感染症の定義 ②感染症の種類と原因 ③感染予防 ④感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
	6) 神経・精神疾患	①神経疾患の定義と種類 ②精神疾患の定義と種類
	7) 難病	①難病の定義と種類 ②介護保険の特定疾病
	8) その他障害に関係の深い疾患群	①脳性麻痺 ②脊髄損傷 ③変形性関節症 ④骨折 ⑤関節リウマチ ⑥ポリオ
5 公衆衛生の現状	1) 人口動態	
	2) 疾病と受療状況	
	3) 医療関係者	
	4) 医療施設	
6 保健医療対策の現状	1) 保健医療対策の現状	
7 医事法制と保健・医療機関及び専門職	1) 医事法制の概要	①医療法 ②医師法 ③保健師助産師看護師法 ④その他の医療関係法
	2) 保健・医療機関及び他の専門職と福祉専門職の連携のあり方	

# 精神保健福祉士国家試験合格基準

次の2つの条件を満たした者を合格者とする。

- 1 問題の総得点の60%程度を基準として、問題の難易度で補正した点数以上の得点の者。
- 2 1を満たした者のうち、試験科目(ただし、精神保健福祉援助技術については、「一問一答問題」と「事例問題」をそれぞれ別個の試験科目とみなす。)14科目(ただし、(注)2に該当する者にあつては、6科目。)の各科目すべてにおいて得点があつた者。

(注) 1 配点は、1問1点の160点満点である。

2 精神保健福祉士法施行規則第6条の規定による試験科目の一部免除を受けた受験者にあつては、配点は、1問1点の80点満点である。